

Leafpadの自動起動

93歳の父親から一太郎Ver.5(DOS)よりも簡単なワープロが欲しいと言われた。一太郎は、たしか70代から使い始めたが、途中HDDが故障して交換した。交換用のHDDがNEC98にはそのままでは対応できず、ディップスイッチを変更しHDDをPCに設置した記憶がある。20年近く使ってきたワープロでも、使い方を忘れてしまう悲しい現実。

いくつかの試行錯誤ののち、Debianで解決しようと考えた。必要な機能は、日本語の入力と、編集機能だけに限定する。印刷等その他は、都度私に対応する。

乗り越えるべきハードルとして以下を想定。

- コンピュータの電源を入れたらLeafpadで指定のファイルを編集可能とする
 - 自動ログイン
 - X-windowの自動起動
 - Leafpadの自動起動

今回利用するNP12にDebianをインストールを試みるも、ネットワークアダプターが認識しない。Debian12⇒11⇒10⇒9まで落としてようやく認識した。Debian9は2020年7月6日よりセキュリティアップデートが中止。システム構築後は、ネットへの接続は行わないので、これで進める。

構成

- ・PC EPSON Endeavor NP12
- ・OS Debian9

目次

1.自動ログイン

1.1 ChatGPT3.5に聞いてみた

1.2 回答

1. **自動ログインの設定:**

2. **自動ログインユーザーの設定:**

3. **Bashを自動起動:**

4. **再起動:**

1.3 やってみた

2. X-windowの自動起動

2.1 ChatGPT3.5に聞いてみた

2.2 回答

1. **自動ログインの設定:**

2. **.bash_profile または .bashrc で startx を呼び出す:**

3. **再起動:**

2.3 やってみた

3. Leafpadの自動起動

1.自動ログイン

1.1 ChatGPT3.5に聞いてみた

Debianのcuiでコンピュータの電源を入れた後に、ログイン作業を自動化し、bashを立ち上げる方法は、ありますか？

1.2 回答

はい、DebianのCUI(Character User Interface)でコンピュータの電源を入れた後にログイン作業を自動化し、Bashを立ち上げる方法があります。以下はその手順です：

1. **自動ログインの設定:**

`/etc/systemd/logind.conf` ファイルを編集して、自動ログインを有効にします。以下はその手順です。

...

`sudo nano /etc/systemd/logind.conf`

...

`#NAutoVTs=6` の行を見つけてコメントを外し、`#NAutoVTs=1` に変更します。また、`#ReserveVT=6` の行も同様にコメントを外し、`#ReserveVT=0` に変更します。

ファイルを保存してエディターを閉じます。

2. **自動ログインユーザーの設定:**

`/etc/systemd/system/getty@tty1.service.d/autologin.conf` ファイルを作成します。

...

```
sudo nano
/etc/systemd/system/getty@tty1.service.d/autologin.conf
...
```

以下の内容をファイルに追加します。

```
...
[Service]
ExecStart=
ExecStart=-/sbin/agetty --autologin <YOUR_USERNAME>
--noclear %I $TERM
...
```

`<YOUR\_USERNAME>` の部分を自分のユーザー名に置き換えます。保存してエディターを閉じます。

3. **Bashを自動起動.**

自動ログイン後、Bashを自動的に起動するように `~/.bash\_profile` または `~/.bashrc` ファイルを設定します。どちらかが存在する場合はそれを使用し、存在しない場合は新しく作成します。

```
...
echo 'exec bash' >> ~/.bash_profile
...
```

または

```
...
echo 'exec bash' >> ~/.bashrc
...
```

これにより、自動ログイン後にBashが立ち上がります。

4. **再起動.**

設定を反映させるためにコンピュータを再起動します。
これで、DebianのCUIでコンピュータの電源を入れた後に自動的にログインし、Bashが起動するようになります。ただし、自動ログインはセキュリティ上のリスクが伴うため、慎重に利用するようにしてください。

1.3 やってみた

```
$sudo vi /etc/systemd/logind.conf
<繰返し: 誤編集用>
$sudo vi /etc/systemd/logind.conf
```

以下を編集

```
#NAutoVTs=6          ⇒NAutoVTs=1
#ReserveVT=6          ⇒ReserveVT=0
```

```
$cd /etc/systemd/system/
$sudo mkdir getty@tty1.service.d
$cd getty@tty1.service.d
$sudo vi autologin.conf
```

以下を記入

```
[Service]
ExecStart=
ExecStart=-/sbin/agetty --autologin yo --noclear %I $TERM
この後の作業は、必要ない。
```

2. X-windowの自動起動

2.1 ChatGPT3.5に聞いてみた

cuiで自動ログインしたあとで、自動的にstartxを起動する方法は、ありますか？

2.2 回答

CUI(Character User Interface)で自動ログインした後に、自動的に`startx`(X Window Systemを起動するためのコマンド)を起動する方法は、依存するディストリビューションや環境によって異なりますが、基本的な手順は次のようになります。

1. **自動ログインの設定:**

まず、CUIでの自動ログインを設定します。これはディストリビューションによって異なりますが、一般的には`/etc/inittab`や`/etc/systemd/system/getty.target.wants/`ディレクトリ内の設定ファイルを編集します。例えば、自動ログインを設定する場合の`/etc/inittab`の例:

```
``bash
```

```
1:2345:respawn:/sbin/getty --autologin <YOUR_USERNAME>
--noclear 38400 tty1
...
```

`<YOUR\_USERNAME>` の部分は、自分のユーザー名に置き換えてください。

2. **`.bash\_profile` または `.bashrc` で `startx` を呼び出す**

自動ログイン後に `startx` を呼び出すように、`~/.bash_profile` または `~/.bashrc` ファイルを編集します。どちらかが存在する場合はそれを使用し、存在しない場合は新しく作成します。

```
``bash
echo 'if [ -z "$DISPLAY" ] && [ "$(tty)" = "/dev/tty1" ]; then startx; fi'
>> ~/.bash_profile
...
```

これにより、`DISPLAY` が設定されておらず、かつログインが `tty1` である場合に `startx` が実行されます。

3. **再起動**

上記の変更を反映させるために、システムを再起動します。
これで、CUIで自動ログインした後に `startx` が自動的に起動するようになります。ただし、これはセキュリティ上のリスクが伴うことに留意してください。

2.3 やってみた

回答の2を選択。

`.bashrc`の最終行に以下を追記

```
if [ -z "$DISPLAY" ] && [ "$(tty)" = "/dev/tty1" ]; then startx; fi
<繰返し: 誤編集用>
if [ -z "$DISPLAY" ] && [ "$(tty)" = "/dev/tty1" ]; then startx; fi
```

再起動したところ、X-windowが立ち上がった。

3. Leafpadの自動起動

これは、私の知識の範囲で解決した。

```
$ vi ~/.config/openbox/autostart
```

以下を記入

laefpad <指定ファイル>

一連の設定後に、再起動を行うとLeafpadが起動することを確認。
Leafpad専用機の完成である。

果たして、使いこなせるだろうか？？

以上